静岡県社会体育施設指定管理者評価委員会による評価結果

令和８年 10 月 30 日
静岡県スポーツ・文化観光部
スポーツ振興課

１　趣旨

静岡県立水泳場、静岡県富士水泳場及び静岡県武道館については、令和５年度から第５期となる指定管理者による管理運営が行われています。

施設名	指定管理者	指定期間
静岡県立水泳場	静岡県スポーツ協会ｸﾞﾙｰﾌﾟ	令和５年４月１日から 令和 10 年３月 31 日まで （５年間）
静岡県富士水泳場	静岡県富士水泳場ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｸﾞﾙｰﾌﾟ	
静岡県武道館	静岡県スポーツ協会ｸﾞﾙｰﾌﾟ	

これらの施設における管理運営が、利用者サービスの向上と管理経費の縮減という指定管理者制度の目的を達成しているか、また、公の施設として条例に掲げる設置目的の達成に貢献しているか等について、客観的な評価を行うため、第三者の委員からなる評価委員会を設置し、委員会による評価を行いました。

２　評価委員会の実施について

施設名	実施日	内容
静岡県立水泳場	令和８年９月 16 日	・指定管理者による事業実績説明 ・質疑応答 指定管理者による事業実績説明について質疑応答 ・意見交換及び評価 意見交換後、委員ごとに評価を実施 ・評価・講評 委員会としての評価の決定及び各委員からの講評
静岡県富士水泳場		
静岡県武道館		

（評価委員会）　◎=委員長、○=委員長代理

氏名	職名等	備考
佐藤　克昭◎	佐藤経済研究所所長	経済･経営/中小企業診断士
川口　良子○	合同会社 デザイン・アープ 代表	建築/施設管理
鈴木　寿子	静岡県スポーツ推進委員連絡協議会 副会長	体育施設利用有識者
前田　恭伸	静岡大学工学部名誉教授	危機管理専門家
杉山　康司	静岡大学グローバル共創科学部教授	大学有識者/スポーツ経営学

3　評価について

以下の「評価の視点」「評価項目」に基づき評価を行いました。

評価の視点	評　価　項　目		配点
○施設の管理運営を適切に行っているか ○競技力の向上及び指導者の養成を図るとともに、県民の健康増進とスポーツの振興に寄与しているか	①	経営管理	20
	②	管理運営体制	20
	③	利用者サービスの向上	20
	④	危機管理体制等	20
	⑤	求められる業務水準	20
計			100

4　年度評価結果について

評価区分は、「優」「良」「可」「要改善」の４段階で、各委員の採点の平均点に基づき決定しました。総合評価は各評価項目の得点の合計により決定しました。

施　設　名	静岡県武道館						
指定管理者名	静岡県スポーツ協会グループ						
評　価	総合		優				
	評価項目別	評 価 項 目	①	②	③	④	⑤
		得　点	19	19	19	18	18
		評 価 区 分	優	優	優	優	優
内　容 主な評価点：良いと評価した取り組み等 提言：改善や一層の努力を求めたい点等							
主な評価点	・多彩な自主事業の展開による収入確保と、光熱費、人件費など管理経費の削減に努めて、収益の改善が図られた。 ・設置目的である指導者養成の取組みや、利用者目線に立ったサービス向上、施設管理が着実に実行されている。						
提　言	・武道館と親和性ある団体顧客の発掘も併せ、イベント企画・広報の新機軸による利用者増への取組みを期待する。 ・地域企業や学校とのネットワークを今後の運営に活かして、新たなニーズへの対応など利用促進につなげたい。						

（評価区分）

評価区分	基　準	意　味
優	配点の85％以上	大いに評価できる
良	同　70～85％未満	評価できる
可	同　50～70％未満	普通
要改善	同　50％未満	改善を要する

【別紙】

＜発言＞　●委員　○指定管理者

【静岡県武道館】

●アンケートにおいて、サービスの満足度が高くなった。サービス向上に向け、何か取り組んでいることはあるか。

○高齢者の利用が増えており、40%が 70 歳以上となっている。そのため、職員研修にて、そういう方の目線でアクティブラーニングを行っている。
また、事務所の雰囲気について、直接は関係ないかもしれないが、話し合い、見直しを図っており、それらが要因になっていると推察している。

●危機管理体制として、駐車場のチェーンに引っかかり転倒した事故が発生しているが、防ぐことは出来なかったのか。

○昨年度の事故発生箇所のチェーンは外した。注意喚起する掲示は多数設置しているが、時々事故は発生してしまうため、ほかの箇所の予防保全についてはどのようにすべきか検討中。

●施設は綺麗に整備されている印象だが、相撲場の利用率の低さが課題。例えばボルダリングやレスリング等他競技での利用などできないか。そういったビジョンを持ち、拠点化を目指したい。

●清掃の外部委託費は予算通りであるが、清掃ロボットの導入はどのように実現したのか。

○指定管理者がリースした。現状うまくいっていると思っている。

●指導者の育成について、講習参加者の人数が増えた。どのような努力をしたのか。

○日本武道館の協賛事業として講師を派遣してもらっており、評判も良い。

●それがほかのものにもつながるといい。どういうところがいいのかフィードバックしてもらい、うまく活用していくことができれば。

●観客数が減っている要因として、大会のライブ配信を理由に挙げていたが、具体的にどのような状況なのか。

○大会数は増えている中で観客数が減っているため、現時点の分析としてそのように説明した。コロナを契機にライブ配信をする大会が増えてきた。それが全てではないが、一因として考えている。また競技人口も減っている。まだ分析の段階。

●民間のトレーニングジムが増えてきているが、トレーニング室の利用者数に影響は。

○民間と比較し金額が安く、70 歳以上は無料であるため、そこで差別化できており、大きな影響はない。ただし、無料の利用者が多いため、経費をどのように計上していくかが課題。